|  |  |
| --- | --- |
| フンボルトペンギン  ：総合水鳥舎  観察のポイント・ワンポイントガイド  画像:フンボルトペンギン翼に付いている輪っかは翼帯と言って、個体識別の為に付けています。  豆知識・メッセージ  野生では繁殖地のフンの堆積層(グアノ)が肥料として採掘され、巣穴が掘れずに個体数が減少しています。 | インドクジャク  ：熱帯鳥類館  観察のポイント・ワンポイントガイド  クジャクオスは、11月末に羽が全部抜けて生え変わります。4月中頃から羽を広げてメスにアピールします。  豆知識・メッセージ  インドの国鳥です。毒ヘビなどを食べるので、邪気を払うとインドでは好かれていますが、日本では野生化したものが畑を荒らすので嫌われています。 |
| フラミンゴ  ：熱帯鳥類館  観察のポイント・ワンポイントガイド  画像:フラミンゴエサにカロチノイド色素が含まれていて、それを食べることによって羽や体の赤い色をたもっています。  豆知識・メッセージ  足ひれは、泥の沼でも、うまらないように付いています。 | ゼニガタアザラシ  ：海獣舎  観察のポイント・ワンポイントガイド  画像:ゼニガタアザラシ4つの秘密①でっぱりをなくした体②ひれのような手足③冷たい海でも平気な体④5～10分くらいなら息を止められる  豆知識・メッセージ  毛の模様は、一頭ごと違い死ぬまで変わりません。人間の指紋と同じです。 |
| エゾヒグマ  ：エゾヒグマ館  観察のポイント・ワンポイントガイド  C:\Documents and Settings\s931443\デスクトップ\Resized\IMG_6982.jpg前足の爪はとても長く、冬眠穴を掘ったり、朽木を壊してアリを食べるのに役立っています。  豆知識・メッセージ  札幌は、ヒグマが生息しやすい良好な森林と隣接しているので、ヒグマとうまく付き合っていくことが大切です。 | ホッキョクグマ  ：世界の熊館  観察のポイント・ワンポイントガイド  一家毛の色は透明で、地肌は黒色です。  豆知識・メッセージ  画像:札幌市円山動物園 冬ロゴ絶滅危惧種に指定され、氷が無いとアザラシを捕まえる事ができません。 |
| シンリンオオカミ  ：エゾシカ・オオカミ舎  観察のポイント・ワンポイントガイド  画像：シンリンオオカミのジェイとキナコです。2頭は仲が良いです。肉は骨ごと砕いて食べます。寒い季節が元気です。  豆知識・メッセージ  パックと言う家族で群れを形成します。季節にもよるが、園内放送、サイレンに反応して遠吠えします。 | エゾシカ  ：エゾシカ・オオカミ舎  観察のポイント・ワンポイントガイド  エゾシカ夏と冬で毛が違います。オスにだけ角が生えます。  豆知識・メッセージ  道内全域で増加し、1997年より保護管理計画がスタートしています。増加防止のため捕獲し、「有効活用ガイドライン」により活用しています。 |
| チンパンジー  ：チンパンジー館  観察のポイント・ワンポイントガイド  画像:チンパンジーナックルウォークで歩きます。手と足を地面につけて歩きます。  豆知識・メッセージ  生息地が減少し、また母親の育児期間は5年と長く、この間は次の子を作らないため、生息数は減っています。 | シシオザル  ：モンキーハウス  観察のポイント・ワンポイントガイド  名前の由来どおり、尾がライオン(獅子)の尾に似ています。  シシオザル豆知識・メッセージ  乱獲や森林伐採により生息地が失われ、生息数は約3000頭と言われています。 |
| ダイアナモンキー  ：モンキーハウス  観察のポイント・ワンポイントガイド  ダイアナモンキー額にある三日月形の白い毛と尾が体よりも長いのが特徴です。  豆知識・メッセージ  生息地である西アフリカの熱帯雨林がこの20年間で約70%減少したため急速に個体数が減りつつあります。 | マンドリル  ：モンキーハウス  観察のポイント・ワンポイントガイド  画像:マンドリルオスがよく｢あくび｣をするのは、大きな牙を見せて威嚇するためです。  豆知識・メッセージ  生息地には石油など鉱物資源が数多く存在し、急激な森林伐採が行われています。 |

